

◆令和5年度 横手市地域公共交通計画策定スケジュール											
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1. 計画準備											
2. 現況整理											
(1) 地域特性・公共交通の整理											
(2) 現行計画の評価・検証											
(3) 既存の運行データによる現況整理、分析											
3. 実態・ニーズ把握のための調査											
(1) 市民アンケート調査											
(2) 公共交通利用者アンケート調査											
(3) 事業者等アンケート調査											
(4) バス乗降調査											
(5) 鉄道を含む公共交通に関する意見交換会											
4. 施策メニューの検討・設定											
(1) 問題点・課題の整理											
(2) 基本的な方針の設定											
(3) 具体的な施策メニューの検討											
(4) 進行管理の検討											
5. 横手市地域公共交通計画（素案）の作成	計画素案の提出										
6. 協議会の開催		第2回	第3回		第4回		第5回			第6回	
7. 協議打合せ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
備考											

■市民アンケート調査

項目	概要
調査目的	市民の生活行動時間・生活行動圏や運転に対する意識、潜在的な公共交通利用ニーズなどを把握する目的で実施する。調査結果を踏まえて、地域公共交通計画に記載する施策メニューの検討に活用する。
調査時期	8月上旬～8月中旬
調査対象	15歳以上の市民(無作為抽出)3,000人
調査方法	郵送による配布・回収(回収は料金受取人払い)
調査項目(案)	設問設定や分析の視点(案)
<ul style="list-style-type: none"> ●回答者の基本属性 <ul style="list-style-type: none"> ・性別 ・年齢 ・居住地(8地区) ・職業 ・自動車運転免許保有状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・本設問以外の設問とクロス集計に使用 ・クロス集計は、8地域別(横手、山内、平鹿、雄物川、大森、大雄、十文字、増田)に属性別・年代別に分析
<ul style="list-style-type: none"> ●運転全般について(免許保有者のみ) <ul style="list-style-type: none"> ・自動車の利用頻度 ・自動車利用の理由 ・今後の運転を継続する年数の意向 ・運転免許を手放した際に想定される移動手段 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車を保有し、自らが運転することが基本となっている横手市において、運転が不安、苦手などの理由から、運転を消極的な選択としている潜在的な公共交通需要の把握
<ul style="list-style-type: none"> ●目的別の外出時の主な行き先・利用交通手段・頻度・行動時間帯(夏想定) 【行動目的】通勤・通学、通院、買物 ●季節別の外出先や利用交通手段の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・冬の外出時に変化する項目(行き先、交通手段、頻度、行動時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・居住地とクロス集計を行い、移動実態の把握及び生活行動圏や生活時間帯の洗い出し ・季節ごとの移動特性の把握
<ul style="list-style-type: none"> ●外出時に困ること <ul style="list-style-type: none"> ・困りごとの有無 ・具体的な困りごと 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出時の困りごとについて把握し、公共交通分野及び他分野との連携により解決可能な項目の把握
<ul style="list-style-type: none"> ●効果的な公共交通の利用促進策 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が望む促進策の把握と施策メニュー検討に活用 ※実現可能性のある促進策を選択肢に設定
<ul style="list-style-type: none"> ●居住地区における移動実態 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣世帯同士の送迎の有無など 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共助による移動実態の把握
<ul style="list-style-type: none"> 【直近1か月で公共交通を利用した方へ】 ●利用特性(目的、頻度、利用時間帯) ●各公共交通の満足度 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利用者の利用実態、満足度、改善すべき項目を把握し、施策検討に活用

<p>(5 段階評価：運行時間帯・ルート・運賃・待合空間、車両の使いやすさ・目的地までの所要時間など、対象の公共交通によって設問項目を変更)</p> <p>※対象の公共交通 鉄道、路線バス、デマンドタクシー</p> <p>●公共交通の目指すべき運行形態について 選択肢例：</p> <p>①運行頻度は減少するが、乗り継ぎはせずに直接目的地に行ける</p> <p>②運行頻度は増加し目的地の幅が広がるが、乗り継ぎが前提となる</p>	<p>※運行形態については、実現可能性を踏まえながらも、選択肢の内容が将来の姿になるという誤った認識を与える可能性もあるため、設問及び選択肢は横手市地域公共活性化協議会と協議の上、決定する</p>
<p>【直近 1 か月で利用していない方へ】</p> <p>設問の前に、公共交通の現状などを伝える文章を提示し、そのうえで設問回答を行う。</p> <p>●公共交通利用が可能な場面</p> <p>●その可能な場面をいつ実施できそうか</p> <p>●公共交通を利用していない理由</p> <p>●その理由が解消された場合の利用転換可能性</p>	<p>・地域公共交通の現状を周知し、アンケート調査を通して“乗って守る”意識醸成につなげる</p> <p>・公共交通非利用者の利用しない理由の把握と利用転換の可能性を把握</p> <p>※地域公共交通の現状については、財政支出や利用者数、新型コロナウイルス感染拡大の影響などを記載するが、横手市地域公共交通活性化協議会と協議の上、記載事項を決定する</p>

■公共交通利用者アンケート調査／バス乗降調査

項目	概要
調査目的	市内を運行する JR 線（各駅）、路線バス、デマンド交通、コミュニティバス、自家用有償運送、廃止代替交通、高速バスの利用者を対象に、利用目的や利用頻度、目的地、前後の交通手段などの利用状況及び現状の公共交通に対する評価や要望を把握する。
調査時期	7月上旬～8月上旬 ※交通モードにより実施時期・実施手法が異なるため、下記「調査方法・対象」を参照
調査方法・対象	<p>調査対象となる交通モード及び調査方法は、下記の通りとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●鉄道（各駅） <ul style="list-style-type: none"> ・横手駅、柳田駅、醍醐駅、十文字駅、相野々駅（始発～終発） ・調査員は、乗降客に対して直接ヒアリングを実施するが、乗降客の都合などにより直接ヒアリングが実施できない場合に web 回答フォームへつながる QR コード付きティッシュ（ノベルティ）を配布する ●路線バス（羽後交通） <ul style="list-style-type: none"> ・平日 1 日：12 路線（始発～終発）/休日 1 日：7 路線（始発～終発） ・調査員が車内に乗り込み、乗車時にアンケートを配布し、降車時に回収 ・調査員は、配布・回収と併せて OD を取得（⇒バス乗降調査） ・アンケートには、ビンゴ形式アンケート票を活用 ●デマンド交通 <ul style="list-style-type: none"> ・市内タクシー会社全社 ・事業者と調整の上、一定期間（概ね 1 週間）継続して実施 ・デマンド交通運行時に運転手から「調査票＋返信用封筒」を利用者に直接配布・回収 ●コミュニティバス、自家用有償運送、廃止代替交通 <ul style="list-style-type: none"> ・全路線 ・事業者と調整の上、一定期間（概ね 1 週間）継続して実施 ・運転手から「調査票＋返信用封筒」を利用者に直接配布・回収 ●高速バス <ul style="list-style-type: none"> ・湯沢秋田線（始発～終発） ・事業者と調整の上、一定期間（概ね 1 週間程度）継続して実施 ・運転手から乗客に web 回答フォームにつながる QR コード付のティッシュ（ノベルティ）を配布

調査項目（案）	設問設定や分析の視点（案）
<p>●回答者の基本属性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者属性（性別、年齢）、利用 OD（利用区間）、目的、利用頻度、前後の交通手段 ・運行サービスに対する満足度（便数、運行時間帯、行き先） ・乗り継ぎで重要視する項目（待ち時間、運賃、運行本数など） ・改善して欲しいサービス（行き先、運行日、運行本数など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内を運行する地域公共交通利用者の満足度や改善を希望する項目を把握 ・路線バスはビンゴ形式アンケート調査票を使用するが、設問数に限りがあるため、特に重要な項目や市民アンケート調査における公共交通利用者への設問では拾いきれない項目を優先的に設定する。